

おれんじ 3月号 と最後の乗務に思う

Ⓛ14

2011. 3. 7

JR東海労東二運分会



所員のみなさん

もう 見ましたか？

毎月、届くの首を長くして楽しみにしている、「おれんじ」(3月号)が

自宅に郵送されてきましたが。ともあれ、「リニア・鉄道館」の開館が間近です。おめでとうございます。でも、入館引換券付きの特別企画きっぷ「リニア・鉄道館☆往復きっぷ」が新商品としてお目見えです。要注意ですね。

驚きましたネ～ 熱の入れように

展示車両ですが、そして個人的ですがSLマニアとしては、同じSLでもC62ではなくD61にしてほしかったな～と思っています。残念です。

それにしても驚かされたのが、表紙でしょうか。意気込みは分かりますが、スタッフを表紙に、はいただけませんね。だって、別に5ページも割いて宣伝しているし、同じスタッフが写真入りで紹介されているんだから。

もう一つ 驚いたのが 思い出写真館の「最後の乗務」ですネ～

写真入りの記事には、「昨年、12月1日付で運転士から駅勤務へ異動になりました。運転士として最後の乗務を終えた後、駅に妻と子供たちが花束を持って駆けつけてくれた時は、とても感動しました。」、とコメントが載っていました。良かったですね。12月という事は、いわゆる環流でしょうか。ご苦労さまです。

ところで、花束を贈るのも、子供と記念撮影をするのも解禁されたと理解して良いですね。「ふじかわ」と言えば、特別急行・ワイドビュー。お客様も多くご乗車だったようで、写真の背景には、お客様の影も見えています。

私たち東海労も「最終乗務」では家族と組合員が出迎えをします。08年11月に環流のために「最終乗務」となる組合員を家族と共に待っていました。息子さんの手には花束がありました。後部標識の確認を終えた父に、息子さんがその花束を渡そうとしたところ「監視」に来ていた大勢の助役さんに制止されたのです。

さらに、所長は掲示で「ホーム上でお客様に迷惑をかけた」、と言っただけでした。その時の所長は今、責任ある立場で会社全体を見ているはずですが。当然、「おれんじ」も見ているはずですが、この種の記事は今回が初めてではありません。あの時の私の判断は間違っていたと認め、今後は出迎えを規制することなく、むしろ「おれんじ」に投稿するよう 称揚 すべきですね。

「お疲れさん 最終乗務に 子の笑顔」 CD 頑爺